



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2005.8.1
NO.2

1. ガバナーメッセージ 1
2. 会員増強および拡大月間によせて ーなぜ会員は重要なのかー 2
3. これからの会員増強 3
4. 「ロータリー100年の森林(もり)」のこれまでと、これから 3~4
5. 8月行事予定表 5



〒640-8215 和歌山市橋丁23 サイバーリンクスN-4ビル2F
国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所
TEL (073) 428-2640
FAX (073) 428-2643

ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2640 地区
ガバナー 平尾 寧章

会長様、幹事様、暑い日が続いています。

お元気で活躍のことでしょう。8月は増強月間であります。カール・ヴィルヘルム・ステンハマーさんはアナハイムのテーマ演説にて各クラブ1名以上の純増を！とスピーチを致しました。ロータリーも101年目に入りましたが、それは100年間の会員増強があったからであります。日本の会員は一時12万人程でしたが現在は10万人余りとなっています。会員が増えればRIの人頭分担金も地区財政も豊かになります。しかし、私には会員減少が底を打ったとは思えないのです。

- ①まず絶対数として若い人口の減少があります。
- ②経済も国民にとって上昇を実感できる状態ではありません。
- ③高齢化による死亡、病気等の退会もあります。

ただ救いは

- ①各クラブの会長さん・幹事さんを始め会員の皆様が少しでも新しい仲間をふやそうとの意識を持って頂いていること。
- ②2640地区の女性会員は130人余ですが200人に出来るかもしれせん。

女性がロータリーに入るには、きちんとした収入があること。そして、御主人の理解の必要もあります。独身の女性はもちろん歓迎です。昨年、日本で女性だけのロータリーも1つ出来たそうです。

一方、私のいつも頭にあるのは、神戸RCの直木太郎パストガバナーの「今しばし拡大をやめて今居るロータリアンの原石を磨くべき時ではないか」との言葉です。

それには「例会を充実し、出席率の向上」が必要であります。ロータリアンは皆、多忙です。多忙な時こそ、例会への規則的出席が必要です。習慣になればロータリーを好きになり会員との親交も深まります。

退会防止の特効薬は規則的な例会出席と思います。

私が30年前入会した時、例会では暖かく迎えて下さり、歓迎会の2次会もして頂きました。余り嫌いでもないアルコールも頂きました。私には、このような体験は初めてでした。3ヶ月程として2度続けて欠席し、3回目の出席も面倒で欠席しますと夜8時頃、推薦者より電話があり、今2次会で皆で私を待っているから出て来い！との事でした。止むを得ず会場に入っていくと大きな拍手で迎えてくれたのでございます。

私はこれでロータリーは辞められないと思ったのです。そして入会后25年目で会長になったとき、愕然と致しました。

まず、四つのテストが言えないのです。そしてロータリーの第一標語の Service Above Self (超我の奉仕) も知らなかったのです。

しかし、この漫然と25年の海南東ロータリークラブへの規則的出席が会長として、ガバナー補佐として、ガバナーとしての任務を果たそうと決意に繋がっていることは間違いありません。今はメイキャップを入れると300%は超えています。

追伸：ロータリーの森林のプロジェクトも3年目です。一度、高野山に機会があれば行って下さい。クラブ名のついた苗木が育っております。よろしく願います。

【炎天の空美(うるわ)しや高野山】 「虚子」 私の好きな俳句です。



会員増強および拡大月間によせて

—なぜ会員は重要なのか—

RI 会員組織地域コーディネーター
第2640地区 PDG 亀岡 弘



会員の増強と退会防止は、8月の月間だけではなく、ロータリー財団や米山記念奨学会への寄付と同様、常に自主的に取り組んでいくものです。エステス RI 直前会長は、識字率および教育、水保全、保健・飢餓追放、公共的イメージ、会員の増強と退会防止の種を播き、ロータリー100周年を祝うために私たち世界のロータリアンが育ててきました。本年度ステンハマーRI会長は、発芽したものをさらに大きく育てていこうと持続性を強調しています。これらの強調事項の中で、すくすくと育ちつつあるものもあれば、芽の吹き出さないものもあります。それは会員の増強と退会防止です。

世界的には2002年6月より2005年5月まで2.2万人、日本は、その間8千人減少しています。2004～05年度7月から5月末までは、世界的には微増ですが、そのうち韓国、ドイツ、英国はかなり増やしています。日本は極微増ですが、現時点では6月末のデータが出ていませんので1年間の増減は不明です。2640地区は、5月末までに16人減りましたが、6月末には-109人となりました。しかし、昨年、一昨年に比較しますと、約2/3程度となり、下げ止まったように思います。これは、中島直前ガバナーが、クラブの活性化と休眠会員の不良債権処理に敢然と取り組まれた結果によるものと評価できるのであります。

本年度はさらに下げ止まり、プラスの方向に転じることを期待するものであります。

ところで、なぜ会員の増強・退会防止に固執するのか。1905年4人で始まったロータリー、そしてシカゴRCの設立により公衆トイレが作られました。「数は力なり」といいますが、ポリオの撲滅も目前に控えていますのも、ロータリアンの数によるところが大であることは明白であります。私たちの身近なところでは、クラブ運営にしても、地域社会の奉仕活動にしても、それに似合った会員が必要なのです。RIも無闇に増強せよとは言っていません。ロータリーに理解のある奉仕の心と、高邁な職業倫理を持った質の高い会員の増強を必要としています。もちろん会員の退会を防止することはいうまでもありません。優れた会員の退会防止は、新会員の入会と同じく重要なのです。

会員基盤の充実と増大によりもたらされる効果として、1) 世界平和と理解、親善活動が充実でき、2) 地元社会および世界中で、人道的および教育活動が拡大でき、3) クラブに斬新的なアイデアや新鮮な視点が持ち込まれ、4) 多くの友人と親睦の機会が増えます。そしてロータリーが末永く成功を収め、健全であり続けられるのです。

これからの会員増強

委員長 西平 都紀子



ロータリークラブが創立し、以来めまぐるしく変わる時代背景の中、日本におけるロータリークラブも少しずつ変化を伴っています。そういった中、時代に即した我々の使命とはどういうものなのかということ今一度考え直し、ロータリアンとしての自覚と責任を改めて認識した上で、今後の奉仕活動に取り組んでいくべきだと考えます。その活動の一環として会員増強・退会防止という重要な事業があります。私の私見ではありますが、会員増強・会員維持のモチベーションは、先ず、クラブの魅力作り、クラブの存在感、会員自身のやる気を徹底させることが先決だと考えます。その上で増強を行い、入会された会員さんにおいては、増強委員会が率先して例会や事業に対しての出席を促していくような仕組みづくりを作ること。そしてもうひとつはクラブでの増強プロジェクトチームを結成すること。チームについては各クラブによりますが、増強委員会さんはもちろんのこと、会長や広報担当委員長、またそういったことに関わる委員長さんたちと効果的なチームをつくり、今年度の目標を達成するに当たり綿密な計画を練り、その目標に向かってクラブが一丸となって突き進んでいく。そういったクラブでの仕組みづくりが今後の会員増強や会員維持にとって最も大切なことになってくるのではないかと思います。

いずれにせよ、やはりその年々のクラブ会長の想い、そして会長のリーダーシップによってクラブの活性化が変化することは事実です。会長がリーダーシップを発揮できるよう、会長を支える三役さんも最も大切な役割ではないでしょうか。

「ロータリー100年の森林(もり)」の これまでと、これから

地区環境保全委員会委員長 亀岡 弘昭



1. ロータリー100年の森林づくりは、ロータリー100周年社会奉仕プロジェクトです。
2. この事業は、財団法人・和歌山県緑化推進会（同県農林水産部内）がめざす「未来を託す森林づくり基金（緑の孫基金）」との、協働事業です。（協力して働く）

3. とともに、人にとっても鳥獣にとっても豊かで、潤いのある、しかも災害に強い森林をつくり、子や孫に遺し継ぐことを目的としています。
4. 「ロータリーの森林」は、和歌山県・林野庁森林管理署・高野山真言宗総本山金剛峯寺などの、ご協力により、高野町の有田川の源流・内子谷の左岸斜面の国有の人工林伐採後地、3.1haを借用して、2003年にスタートしました。
5. 財緑化推進会は、植樹地造成・苗木準備と植樹イベント以外の大部分の植樹・イベントの準備運営・基金管理などを負担いただき、ロータリーでは、一人一木（一口10,000円）の基金募金に努め、記念植樹イベントに参加することによって多くの人達との交流親睦を深めることができました。
6. 2003～04年度と2004～05年度の2回のイベントで植樹したものを合わせてヤマザクラ650本、ケヤキ200本、イロハカエデ450本、コナラ300本、クリ500本、あわせて2,100本が植えられました。（当初目標3,000本）
7. 2005～06年度は、過去2ケ年に植えられたものの活着状況を調べ、枯死したものの補植を含めて、エドヒガン50本、ヤマボウシ100本、クリ100本、コナラ50本、カツラ50本、タマミズキ50本、トチノキ50本を植え、森林をより充実させたいと願っております。このプロジェクトに未参加の方に、一人でも多くの参加を各クラブで、ご宣伝ください。
8. これから、財緑化推進会による、下草刈りを、はじめとする造林事業が、はじまります。植樹した一本一本の木が日々成長していくことを祈っています。

世界遺産にも登録された高野山に、お出での際には、私たち互いの大切な森林（もり）に、お立ち寄り下さい。ロータリーの森林は橋本方面からいけば、高野山・大門前から右手に相の浦、花園に通じる、きれいに舗装された町道・内子谷（ないごたに）線を車で5分ほど下った所にあります。

（高野山RC会員）



まだ残っています！ 100周年記念切手

ロータリー100周年記念切手(80円)は、RI会長主催祝賀会議(東京)に合わせて去る4月28日、1,300万枚が発行されました。全国ロータリアンのご協力により6月末までに約1,000万枚が売れ、現在では在庫切れの局が多くなっております。東京中央郵便局はじめ、まだ相当枚数を在庫しておりますので取り寄せが可能です。東京中央郵便局では通信販売を実施しており、郵便振替にてお買い求め頂けます。詳しくは東京郵便局窓口までお電話(03-3284-9651)にてご照会、または、同局ホームページ(アドレス: www.kitte.go.jp)をご覧ください。ロータリーの奉仕活動を広く知ってもらおう絶好の媒体としてご購入のうえ、ご活用頂きたくお願いいたします。

特定非営利活動法人 ロータリー日本財団理事長 岩井 敏
ガバナー会議長 市川 伊三夫

8月 会員増強および拡大月間

1日	(月)		
2日	(火)	WCS地区委員会打合せ会議	ガバナー事務所
3日	(水)		
4日	(木)	羽衣・大阪金剛RC公式訪問 インターアクト海外研修(ホストIAC:飛翔館)(8月4日~8日)	サンルート関空
5日	(金)	和歌山中・和歌山東南RC公式訪問	
6日	(土)	クラブ青少年・ライラ委員長会議	和歌山JAビル
7日	(日)	2005~2006年度長期受け入れ学生のホストファミリー並びにクラブカウンセラーに対するオリエンテーション	テクスピア大阪
8日	(月)		
9日	(火)	大阪狭山RC公式訪問	
10日	(水)		
11日	(木)	高石・高師浜RC公式訪問	
12日	(金)		
13日	(土)		
14日	(日)		
15日	(月)		
16日	(火)		
17日	(水)		
18日	(木)		
19日	(金)		
20日	(土)	クラブ雑誌・広報、IT委員長会議	和歌山 JAビル
21日	(日)	2005~2006年度長期受け入れ学生への第1回オリエンテーション・歓迎会 2004~2005年度長期派遣学生帰国報告会 2005~2006年度短期交換学生帰国報告会	きららホール
22日	(月)		
23日	(火)		
24日	(水)	松原・松原中RC公式訪問	
25日	(木)	和歌山東・和歌山北RC公式訪問	
26日	(金)		
27日	(土)	阪南・泉佐野・関西国際空港・りんくう泉佐野・泉南RC会長・幹事懇談会	
28日	(日)	インターアクト年次大会(ホストIAC:和泉)	
29日	(月)		
30日	(火)		
31日	(水)		



国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所のご案内



〒640-8215 和歌山市橋丁 23 サイバーリンクス N-4 ビル 2F

T E L (073) 428-2640

F A X (073) 428-2643

勤務時間 9:00~17:00 (土・日・祝日は休み)

S T A F F 代表幹事 楠部 賢計

事務職員 山本千恵子 平田有紀子 清原美和